

地域で支え合う「介護予防・認知症予防活動」

介護保険制度が施行された平成12年当時、約900万人だった75歳以上の高齢者(「後期高齢者」)が現在1,400万人を超え、平成37年には2,000万人になることが予測されています。高齢化が進むにつれて、独居高齢者や夫婦のみの高齢者所帯の増加に加えて認知症高齢者の増加が深刻な社会問題として現実化しております。

こうした情況下、重度な要介護状態になっても、住み慣れた地域で人生の最後まで尊厳を持って自分らしい生活を送ることができる社会の実現に向けて、保険者である県市町村各自治体による介護サービスの基盤整備と同時に、医療・介護・住まい・生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の構築が急務とされています。

館山市では2名の千葉県生涯大学校出身者(OBとOG)が、高齢者福祉課の非常勤職員として地域づくりによる介護予防・認知症予防活動を推進しており、私も平成28年に県主催の生活支援コーディネーター養成研修を受講し、「コーディネーターと愉快的仲間たち」のメンバーとして活動に参加しております。活動は、地域住民が主体となった、誰もが参加できる「通いの場」づくりを主眼として、自宅から歩いて参加できる範囲内に「通いの場」を設け、高齢者が主体的に生活する意欲を維持・向上させることで自立支援・介護予防につなげたいと考えています。

介護予防活動として「館山元気が出る体操」や「長生き音頭」、「ふるさと館山おどり」などを、認知症予防活動として「さわやか健康麻雀」などが普及してきており、成果が期待されております。

また、以前、県生涯大学校の地域活動学部を履修した関係もあり、平成26年以降、NPO法人「たんぼぼの会」で10名のクラスメートと一緒に「市民サロンお茶の間」の運営のお手伝いをしております。参加者の3人に一人は90歳以上ですが皆さんお互いに打ち解けて月2回の会合を心から楽しんでおられる様子で、お手伝いの我々に投げかける感謝の言葉にも本当に実感がこもっているのです。が(明日は我が身)、ボランティア活動は私自身にとっても介護予防・認知症予防の「有効なツール」にはかならないのです、そう考えて活動しています。「通いの場」や「生活支援コーディネーター」に関してのご質問等があれば何なりとご連絡下さい。情報の提供、ご相談等に応ずることができると幸いです。

<倉元 信弘会員(海) 0470-23-3834>



<「市民サロン」での和やかな活動>

「館山航空隊・平砂浦爆撃演習場」・・・知られざる実態を探る

「平砂浦演習場」から連想されるのは、S16年日米開戦直前に開校された館山砲術学校(「館砲校」佐野)の陸戦演習場であろう。ところがS6年、館山海軍航空隊(「館空」)の開隊と同時に平砂浦に爆撃演習場が造られていたことはほとんど知られておらず、地元の長老に尋ねても航空演習場の存在すら話に上ることはない。

演習場の使用状況を知ることでできる記録資料は皆無であるが、日米開戦の直後、爆撃監視場が建設され戦争半ばのS18年に管理規則の改訂により館空司令が航空演習場の使用調整権者に指定されたことは、他航空隊を含めた爆撃訓練が次第に本格化し激しさを加えて行ったであろうことを物語っている。

旧海軍の記録資料の中に平砂浦演習場の建設にまつわる興味ある事柄が載っていたのでそれらのあらましを紹介する。

演習場内に同居した地元住民の耕作地

S3年作製の「館空爆撃演習場境界標設置図面」によれば、演習場は現在のカントリークラブ北側の砂山を頂点として西岬から洲宮に至る約5キロの平砂浦海岸を底辺とする三角形で、当時の大蔵省の雑種用地を海軍が管理替を受けたものであることが分かる。境界標の設置によって地元住民から演習場内での耕作の継続について嘆願が噴出し、農民を代表して西崎、神戸村などの村長から海軍大臣あてに陳情書が提出された。

それぞれの陳情の事由が大変振っている。異口同音に「官用地だとは知らなかった、共有地だと思って慣行的に代々耕作を続けてきた・・・云々」と悪びれることなく切々と心情を吐露している。

海軍省は陳情に応じて境界付近の百数十戸に対して有償で演習地内での耕作を認め、さらに共同事業の砂防植林には無償使用を許可している。この平砂浦地方では、一夜で地形が変わるほどの猛烈な砂嵐との闘いと、不毛の砂地を耕作してスイカや落花生などを収穫して生活を営むための住民たちの懸命な努力が先祖代々続けられてきたと言われる。海軍の措置は、このような地域の特性、住民の労苦を配慮した温情と見るべきであろう。

軍用地にまつわる誹謗中傷・・・「歴史認識」の問題

軍用地というと、とかく官憲の圧力を背景とした強制収容というイメージで捉えられがちであり、館山の観光リーフレットでも「住民の居住・耕作地が片っぱしから取り上げられ、松林が手当たり次第伐採されて白砂青松の平砂浦の景観が消え失せた」と紹介されている。これなども無責任な風聞からもたらされたごく一例に過ぎない。

戦後の歴史認識の元凶は「東京裁判」だけではないと思う。地域における軍隊に絡む(根拠の薄い、好い加減な)証言や根も葉もない憶測、流言飛語が「誤った歴史認識」を助長し、拍車をかけていることは間違いないと思う。

<自称地域史探索マニア その18>

如月(きさらぎ)を控え(遅ればせながら)平成30(2018)年の幕明けをお祝い申し上げます。すでに新年号の制定に向けた準備が進められていますが、平成30年が新時代の幸先(さいさき)の良いスタートに結び付くような輝かしい年であり、あわせて会員諸兄・ご家族にとって幸せな年でありますよう祈念申し上げます。

<支部長>

支部の活動概要

<<12・1月活動実績>>

- 12. 1(金) 現地研修支援(君津歴史研、三芳地区)
- 1. 9(火) 第21航空群司令年始表敬(OB団体代表)
- 1.15(火) 県隊友会部隊研修(護衛艦「いずも」横須賀)
- 1.23(月) 館空会・支部役員合同意見交換会(市内)
- 1.27(土) 支部1月役員会(コミセン)

<<2・3月活動予定>>

- 2. 9(金) 第21航空群司令への相談役委嘱状伝達
- 2・3月 21空群隊員訓育講話の支援
- 3. 1(木) 県隊友会後期支部長会議(千葉市民会館)
- 3.20(火) 館山市戦没者慰霊祭(鶴ヶ谷八幡宮)
- 3.31(土) 支部年度末役員会(コミセン)

護衛艦「いずも」研修の点描

1.15 県隊友会部隊研修・横須賀

海自最大の護衛艦「いずも」は、全長248m、満載排水量26,000トンの要目から、かつての旧海軍の正規空母「飛龍」を上回ると言われ、「空母に改造して戦闘機を載せる計画があるのか」といったメディアの憶測や超軍事大国の中国が(自分のことを棚に上げて)、海自の大型DDHの配備に対して「周辺国に脅威を与える」と警戒感を表明しているとか、いろいろと内外の注目を浴びているところです。

「いずも」型は「ひゅうが」型に比べ、兵装を大幅に減らして飛行甲板を50m延ばし、対潜作戦に加えて災害派遣、海上輸送等々、「多用途性」を大幅に強化し、SH型ヘリ7機を搭載して5機同時発艦が可能とされています。

研修成果 今回、支部から網代緑理事と岸田和義理事が参加し、網代理事はDDH「ひえい」の艦装・乗組とDDH「はるな」の整備長勤務、岸田理事はDDH「しらね」整備士を経験していることもあり、関心事が「著しく進化した新型DDHにおけるヘリコプターの艦上運用・整備」に向けられたことは当然の成行きでしょう。

とは言え、時間の制約と団体行動の関係上、特定の分野に突っ込んだ研修は所詮無理であり、筆者(編集子)が2名の参加者からヒアリングを通じて把握した事柄(「もっと深く知りたいこと」)をランダムに列挙してみました。

- 航空管制・発着艦管制：艦橋の航空管制室(LSOを統合?)とヘリの発着に関する通信・指揮系の問題
- 艦上でのヘリの移送(移動)：遠隔操作によるヘリ搬送システムの運用、デッキハンドリングとの関係
- 広大な格納庫に加えて艦首・艦尾の整備格納庫、種々の整備区画と機材、コーサルの問題等々

今回の研修が、これら(装備器材等)の運用の成否が人(乗員)のスキル・判断にかかっているだけに、今後、折に触れて、ヒューマン・ファクターとの関連で「もっと深く知りたい・知ろう」という動機付けになったことと、多くの回転翼航空要員が(我々の目に付かない場所・環境で)黙々と過酷な勤務に従事している状況を、停泊艦の現地研修を通じて感得できたことは貴重な成果であったと言ってよいでしょう。

所見 このような研修を参加者の体験・思い出だけに終わらせるのは大変「勿体ない」ことだと思うのです。研修で感得した事柄を他の会員に知らせること、機会を捉えて県民・市民一般に知ってもらうことが大切だと思います。それが隊友会が主要事業活動の一つとして掲げる「自衛隊諸業務に対する協力支援」に結び付くのです。

今回の研修の企画、調整、実施に当たられた県本部関係者に深謝申上げる次第です。

<編集子>



<体育館を思わせる全通甲板の格納庫>

レクイエム

12月22日 海老原武雄会員 逝去(享年81歳)

館空会会長として支部の運営・活動に対する絶大なご支援を厚く感謝申し上げます。

謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします 合掌 <支部会員一同>

トピックス

永吉照盛会員(海) 高齢者介護予防活動推進の功労を表彰される(1月15日)

地域における高齢者の健康づくり・介護予防活動等 長年の功績が高く評価され、安房地区老人クラブ連合会から功労者として表彰されております。誠にありがとうございます。